第２期

矢部地域づくり計画

（令和６年度～令和１５年度）

ともに生き、支えあい、
安心して暮らせる矢部村

八ツ滝

令和6年3月

矢部地域づくり協議会

ごあいさつ

矢部地域づくり協議会では、「ともに生き、支えあい、安心して暮らせる矢部村」を将来像（目標）に掲げ、平成２６年３月に「矢部地域づくり計画」を策定し、地域課題の解決に向け、様々な取り組みを進めてまいりました。

この度、地域づくり計画策定から１０年を経過したことに伴い、改めて地域の現状を踏まえて、地域づくり計画の見直しを行いました。

本計画が地域住民主体による新たな地域づくりの指針として、地域振興に資するものとなるよう、地域課題の解決のための取り組みへ皆様のご参加、ご協力のほどをよろしくお願いいたします。

矢部地域づくり協議会
会　長　**栗原　昭典**

目　次
Contents

1　はじめに …… 1
2　地域の魅力再確認 …… 2
3　解決していきたい矢部地域の課題 …… 4
4　矢部地域の将来像と基本方針 …… 6
5　目標に向けた具体的な取り組み …… 7

参考資料
1　矢部地域づくり計画アンケート　調査結果概要 …… 9
2　矢部の歳時記 …… 13
3　地域振興計画策定部会員名簿 …… 13

1　はじめに

1　計画更新の趣旨

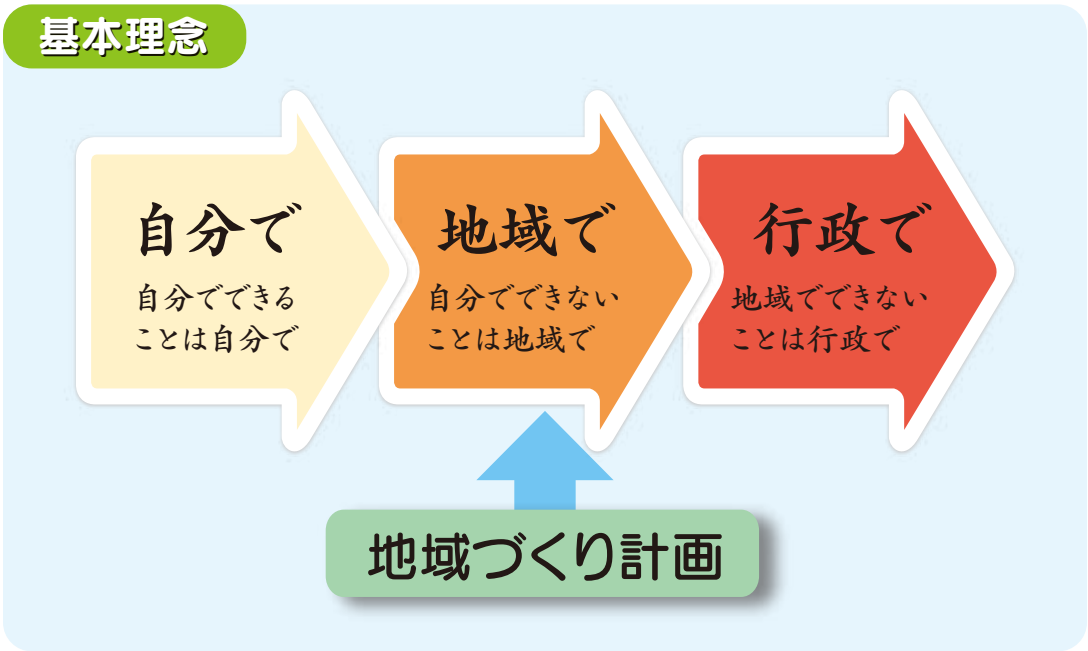
矢部地域においては、平成26年度に「矢部地域づくり計画」（計画期間10年）を策定、様々な取り組みを実施してきました。

この10年間は地域人口が大きく減少、後半には世界的な新型コロナウイルス感染症の流行という問題が発生、矢部地域においても、矢部まつり、体育祭など継続されていたイベントが中止された年もありましたが、近年では行政との連携や事業規模の縮小など、地域住民の協力により事業を実施してきています。

しかしながら、急激な人口減少や超高齢化等の影響により、高齢者に対する支援や環境保全、防災、防犯など住民の生活に直結する様々な問題、地域における伝統文化の継続、継承や主産業である農林業の継続維持、後継者の育成等に支障をきたすなど、問題は増大し深刻化しています。

このため、「矢部地域づくり計画」の策定から10年を迎える今、今後10年間を見据えた新しい「矢部地域づくり計画」として更新を行いました。

本計画の基本理念は、地域住民の生活に直結する問題について、地域自らの手で、あるいは行政の協力を得ながら住民が互いに助けあい解決できるように努力することです。「自分でできることは自分で」「自分でできないことは地域で」「地域でできないことは行政で」、様々な問題に対応していきます。



2　矢部地域づくり計画の期間について

この計画の期間は、令和6年度～令和15年度までの10年間とします。

2　地域の魅力再確認

矢部地域にはこんなにもたくさんのお宝が！

今回実施しましたアンケート調査結果を参考に、矢部地域に関わりのある皆さんが、「矢部のここが好き」、「自慢したい」、「これからも大切にしていきたい」、「未来に活かしたい」と思っている“お宝”について整理しました。

これらの魅力をみんなで守り育み、未来につなぐ地域づくりに活かしていきましょう。

ひとについての魅力

○人柄について
　親切で穏和、何事にも我慢強い。
○付き合いについて
　隣近所の付き合いがよく、奉仕作業などの集まりもよい。
　集落が一丸となって助け合い生活している。
　子ども達は学年を問わず仲が良い。

自然・歴史文化についての魅力

○自然について
　八名山に抱かれた豊かな自然、清らかな川の流れときれいな空気。
　のどかな田園風景と四季折々の美しい景観。
○歴史文化について
　後征西将軍宮　良成親王墓「大杣御陵墓」などの文化遺産や史跡が多い。
　大杣公園祭、浮立などの伝統行事が数多く行われています。

生活についての魅力

○住みやすさについて
　のんびり暮らせる静かな環境、人情味あふれる人間関係。
○産業について
　八女茶、いちご、こんにゃく、味噌など多くの農産物の生産・加工、
　杉などの木材の伐採・加工。クリエイトやべによる人材育成。
○イベント（年中行事等）について
　矢部地域では、四季折々のお祭りやイベントを開催しています。
　また、地域間交流や体力向上を目的としたスポーツ大会
　（矢部地区体育祭など）も積極的に開催しています。
○学校について
　令和2年4月に矢部小学校と矢部中学校が統合し、義務教育学校
　「矢部清流学園」が開校しました。
　伝統継承活動「浮立」、放課後学習会（英会話教室）等地域と
　密着して特色ある教育が行われています。

矢部の風景・施設・史跡など

日向神峡

ハート岩

杣のふるさと文化館

ムササビ文庫

矢部清流学園

清流矢部川の源流に整備された「矢部川源流公園」には、自然の川の流れをそのまま利用した「ふれあい河川プール」があり、無料で利用できます。また、河川プールの近くには、レストランや特産物を販売している「矢部地区観光物産交流施設　杣のさと」、宿泊施設　奥八女別邸「やべのもり」があります。

矢部川源流公園　ふれあい河川プール

矢部地区観光物産交流施設　杣のさと

奥八女別邸「やべのもり」

の魅力

日向の神々がその美しさに惹かれてやってきたという伝説が残る約6㎞の渓谷。岩山に径12mの穴の開いた「蹴洞岩」や、その形がハート形に見える「ハート岩」などの奇岩が続き、春の桜（千本桜）、秋の紅葉など四季折々の景観が楽しめます。

蹴洞岩

矢部中学校旧校舎（昭和18年建築）の木造校舎を修復改装し“ふるさと矢部”を語る学舎として活用しています。館内は、世界子ども愛樹祭コンクール作品を初め、吉田民尚画伯の油画展示や八女教学の祖「江崎済」氏などの資料を展示しています。令和5年には、矢部村出身の詩人、故「椎窓猛」氏をしのぶ「ムササビ文庫」も開設されています。

名物は
よもぎ饅頭です

特産物販売所「出逢」

八女津媛神社

大和朝廷の時代、景光天皇が八女の地に巡幸のおり、水沼の県主猿大海が「この地方に女神あり。その名を八女津媛といい、常に山中におる。」と奉上したことから八女の地名が起こったといわれ、その女神を祀った神社が矢部の神ノ窟地区にあります。5年に一度県指定無形民俗文化財の「八女津媛神社の浮立」が行われます。

大杣公園

約600年前の南北朝時代に、この地に移り生涯を閉じた後征西将軍良成親王（第97代後村上天皇の皇子）の御陵墓があります。命日の10月8日には「大杣公園祭」として、公卿唄や浦安の舞が奉納されます。

八名山登山（釈迦岳・御前岳等）

福岡県下最高峰の釈迦岳・御前岳は、春はシャクナゲと新緑、秋は紅葉、冬は樹氷が美しく、天気がよい日には阿蘇山系まで展望できます。また、動植物の宝庫としても有名で、天然のシャクナゲやキツネノカミソリの花を観賞することもできます。八名山登山スタンプラリーを実施しており、全制覇された方に記念品を差し上げています。

秘境杣の里渓流公園

矢部川源流の公園内には、渓谷にかかる「杣の大吊り橋」や、御前窯工房、釣り掘など体験施設があり、園内散策では、四季折々の花や鳥、虫が鑑賞できます。豊かな自然にいだかれた公園です。季節に応じたイベントも開催されています。

3　解決していきたい矢部地域の課題

私たちが暮らす矢部地域には、様々な魅力がある一方で、解決すべき課題もたくさんあります。今回行いました「矢部地域づくり計画アンケート調査」の結果から、様々な問題が数多く寄せられました。アンケート結果や地域づくり協議会から出た意見をもとに、現在・将来の課題について整理を行いました。

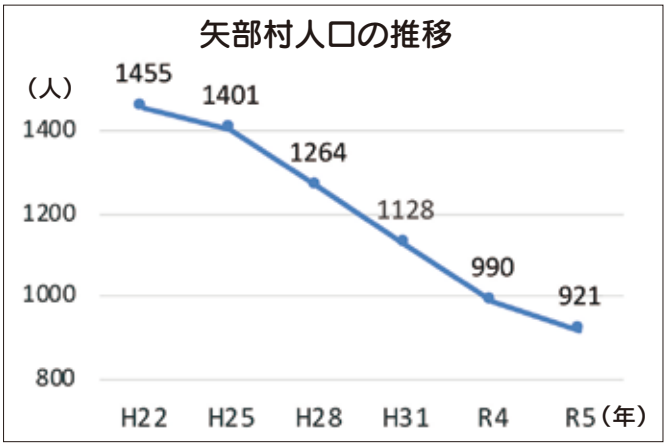
1　矢部地域が抱える大きな問題

矢部地域には、課題を整理する上で考えなければならない大きな問題があります。それは、「急激な過疎化（人口減少）」と「超高齢化」で、これ自体は我々住民ではなかなか解決することができない深刻な問題で、これを起因とする課題が非常に多くなっています。

○人口の変化

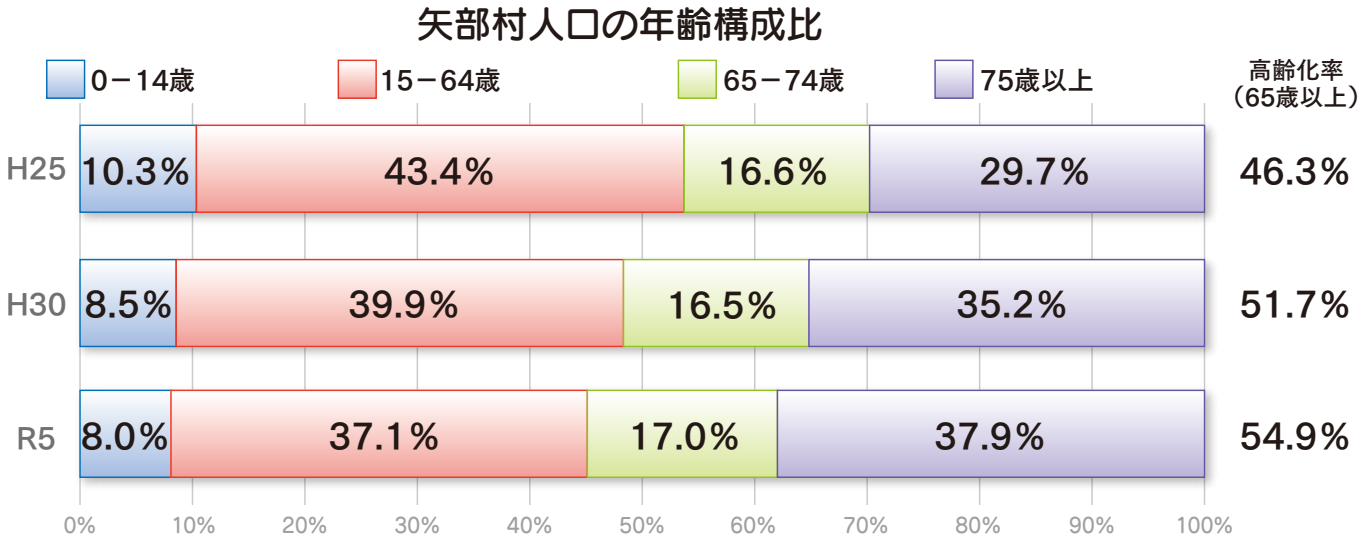
平成25年の矢部地域づくり計画策定時の人口は約1,400人でしたが、令和4年には1,000人を下回り、令和5年3月末時点では921人となり、約35%の減少率となっています。

また、子供（14歳以下）についても、約150人から74人と半減（50%減）しています。



○高齢化率の変化

後期高齢者(75歳以上)人口の占める割合は、平成25年の29.7%(4人に1人)から37.9%(3人に1人)に大きく増加しており、全体の半数以上(54.9%)が65歳以上の高齢者となっています。



２　矢部地域の課題

○集落における課題

・人が少ない　集落の存続危機、集落の行事・地域づくり協議会の活動存続が難しい
　地域づくりの担い手不足、リーダー的存在がいない
・伝統行事の継続、歴史史跡の保存が困難
・空き家の増加、荒廃
・矢部村の良さを十分にPRできていない
・国道442号の交通量は多いが、通り道になっているだけで観光の目玉がない

○生活環境･産業面での課題

・ゴミが落ちているのが目立つ、ポイ捨てが多い、不法投棄が多い
・若い力の流出　働く場所がない
・通勤、通学が不便　遠い、時間がかかる、お金がかかる
・人口減で、地域公共交通（堀川バス、乗り合いタクシー）の存続が不安
・日常的な買い物が不便　食品を買う店、飲食店の存続
・一人暮らし高齢者や高齢者のみ世帯の増加　できないことが増える（食事の準備、
　買い物、ごみ出し、水の管理、通院など）
・道路愛護ができない箇所がでてきている（高齢化、若い人がいない）
・豪雨災害の心配が大きくなっている（山崩れ、道路の崩壊等心配が絶えない）
・道路が狭かったり、舗装が痛んだりなど、道が悪い箇所がある
・有害鳥獣被害の増加
・農林業担い手不足、農林業衰退、農地、山林の荒廃
・既存の就業場所の存続（クリエイトやべ、秘境杣の里、JA加工場等）
・生活上の水の確保の問題上下水道が整備されていない
・子ども達が集まれる場所が少ない

○健康･福祉面での課題

・矢部診療所、矢部歯科診療所、福祉施設、福祉サービスの存続が不安
・地元に住み続けられる環境がない　グループホーム・小規模多機能施設などの
　福祉施設の整備促進が必要
・健康意識が低く、病気の初期対応が遅い

○青少年育成面での課題

・学校の存続が心配される　１０年後も学校が存続するための対策の検討
・山村留学など、子どもを増やす取り組みの検討
・教育を起因とする、人口の流出（高校進学時の通学の問題等）

4　矢部地域の将来像と基本方針

1　地域の将来像（まちづくり目標）

ともに生き、支えあい、安心して暮らせる矢部村

2　基本方針

矢部地区は、人口減少や超高齢化の問題をかかえていますが、現在矢部地域づくり協議会で実施できている事業等は、みんなが元気になるため、矢部地区を盛り上げるため、地域の絆を深めるために、引き続き、地域で協力しながら実施していきたいと考えます。

また、人口減少、超高齢化の問題は、わたしたちだけではなかなか解決できる問題ではありませんが、その状況をただ見ているだけではなく、矢部地区の未来について語り合う場を設け、話し合い、自分たちでできることは地域で協力して行い、問題解決に向けた取り組みをすすめましょう。

○守ろう、つなげよう（みんなで協力し、次世代につなげよう）

・矢部地区で実施している行事を継続していこう（後援、共催等事業含む）
　桜まつり健康マラソン大会、青少年の主張大会、花火大会、矢部地区体育祭、大杣公園祭、矢部まつり、公民館まつり、世界子ども愛樹祭コンクールの後援等

・男女共同参画の推進に取り組もう

・伝統行事の保存や伝統文化の継承、歴史史跡の保存に努めよう

・青少年の健全育成の取り組みを継続しよう

・高齢者世帯への支援活動を継続、充実させよう

・自然を守る、景観美化活動に努めよう（道路愛護等）

○未来に向けてやってみよう

・住民みんなが元気で長生きし、いつまでも現役で活動できるようにしよう
　多世代でできる体力づくりのイベントを実施する、子どもも高齢者も集える場所づくり、いつまでも住み慣れた矢部村で安心して過ごせる環境の整備（福祉施設整備）など

・人口、関係人口の増加を目指す
　矢部でできる仕事を作る（農業、林業等担い手の育成も図る）、移住者への住居提供のための施策検討（空き家バンク登録を増やす、空き家をリフォームする、補助金の活用など）、ネット環境の整備など

・児童生徒を増やす取り組みに努める　山村留学等

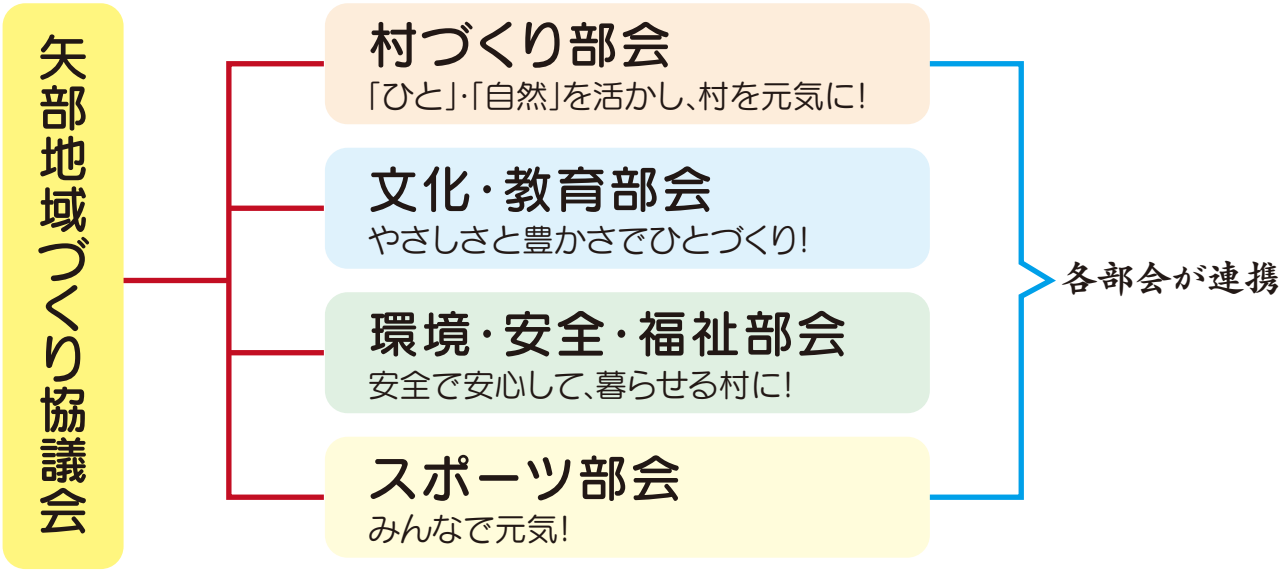
・矢部に来てくれる人を増やす取り組みをする
　自然公園の整備等素通りできない魅力ある地域づくり、観光イベント等実施、登山客への施策（宿泊施設の整備等）、矢部のPR活動、SNS発信など

・矢部の農業を守る取り組みをする
　矢部の特性を利用した作物の作付、特産物の開発、農地を守る取り組み、担い手の育成、耕作放棄地対策、鳥獣被害の食い止め
・生活支援施策の実施
　買い物、食事、ごみ出し、水の問題、通院などの困りごとへの対応
・交通インフラの整備　ライドシェア、カーシェアリング、などの検討
・学校、診療所、福祉施設、公共交通機関等の現状維持、存続を要望していく

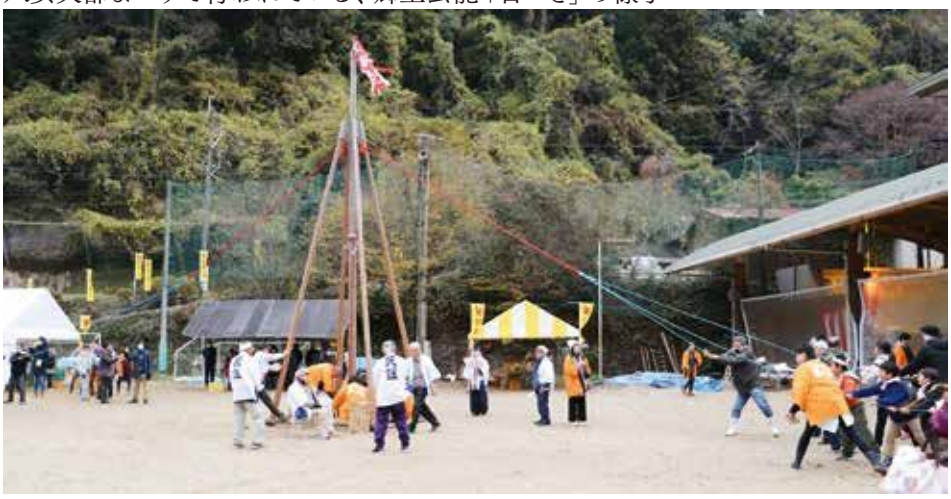
5　目標に向けた具体的な取り組み

1　計画の推進体制

　矢部地域づくり協議会では、施策分野ごとに以下の部会を設置し、この部会を中心に矢部地区住民とともに取り組みを進めます。



八女矢部まつりで行われている、郷土芸能「石づき」の様子



２　矢部地域づくり計画の具体的な取り組みと方針

〇現在、矢部地域づくり協議会で開催、後援等実施している行事や取り組みを、継続し向上させていきます。

・地域のイベントを継続させる取り組み
（桜まつり健康マラソン大会、矢部村花火大会、矢部地区体育祭、矢部まつり、紅葉まつり、八女津媛神社の浮立、公民館まつり、世界子ども愛樹祭コンクールなど）

・男女共同参画の推進の取り組み（広報活動、会議への参加協力など）

・青少年の健全育成の取り組み（青少年の主張大会への協力、活動団体助成など）

・スポーツ、文化、教育活動推進の取り組み（活動団体助成など）

・地域福祉活動の取り組み（高齢者の健康づくり助成など）

・道路環境整備、地域環境美化活動、防犯活動、防災活動の取り組み（活動団体助成など）

〇今後、検討して積極的に取り組みたいと考えています。

・伝統文化、歴史史跡の保存伝承の取り組み
（環境整備支援、人的支援の検討、伝承活動の取り組み検討など）

・健康寿命を伸ばす取り組み
（グラウンドゴルフやソフトバレーのような多世代でできる体力づくりのイベント実施、交流の場づくりなど）

・高齢者が元気で長生きできる環境整備の取り組み
（高齢世帯の見守り支援、認知症高齢者を支える仕組みつくり、地域に住み続けるための環境整備、グループホーム等福祉施設の整備検討など）

・定住人口や関係（交流）人口を増やす取り組み
（移住・定住促進、山村留学、観光施策、登山客へのPR、ネット環境整備、ICTの活用、人材育成、空き家対策など）

・地域の産業振興の取り組み（矢部のPRができるものを作る）
（特産品開発、農林業振興、耕作放棄地対策、有害鳥獣対策、企業誘致、担い手育成など）

・生活環境を豊かにする取り組み
（買い物、食事、ごみ出し等の支援対策、飲料水確保に係る施設整備の検討、交通インフラの整備検討など）

・矢部地域の未来を考える取り組み
（矢部地域の未来について、夢を語り合うシンポジウムの開催など）

参考資料

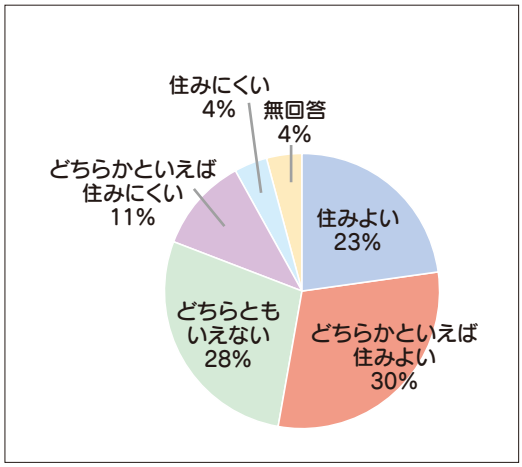
1　「矢部地域づくり計画アンケート」調査結果概要

「矢部地域づくり計画」を再策定するにあたって、実施したアンケート調査について、結果の一部を掲載いたします。

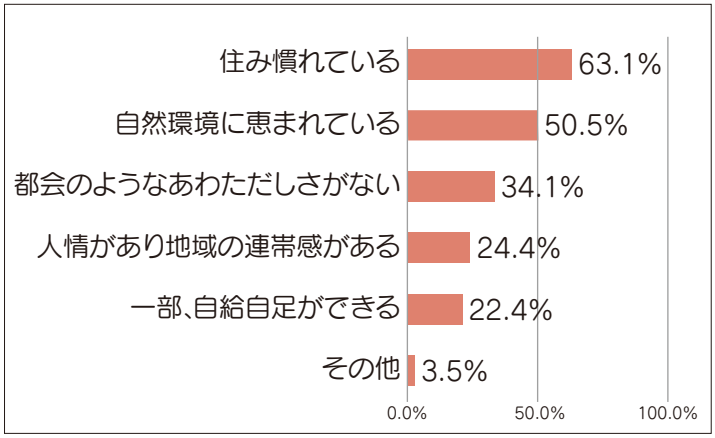
① 一般用アンケート

○一般用アンケートについて　概要
①調査方法　高校生以上の全住民
②回収状況　配布数719枚、回収数594枚　回収率82.6%
③調査時期　令和5年9月

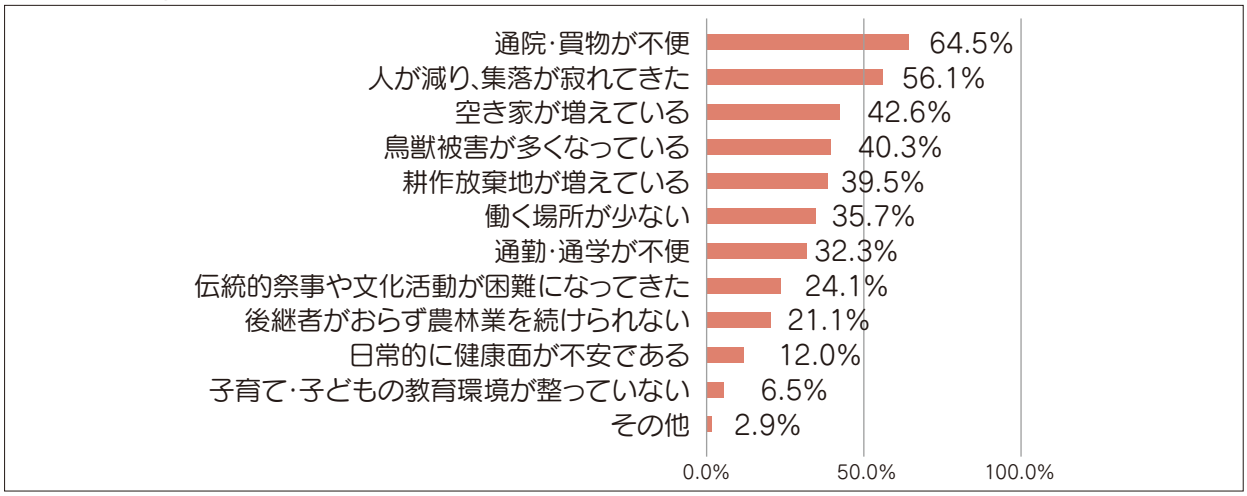
○あなたは矢部村を住み良いと思いますか？



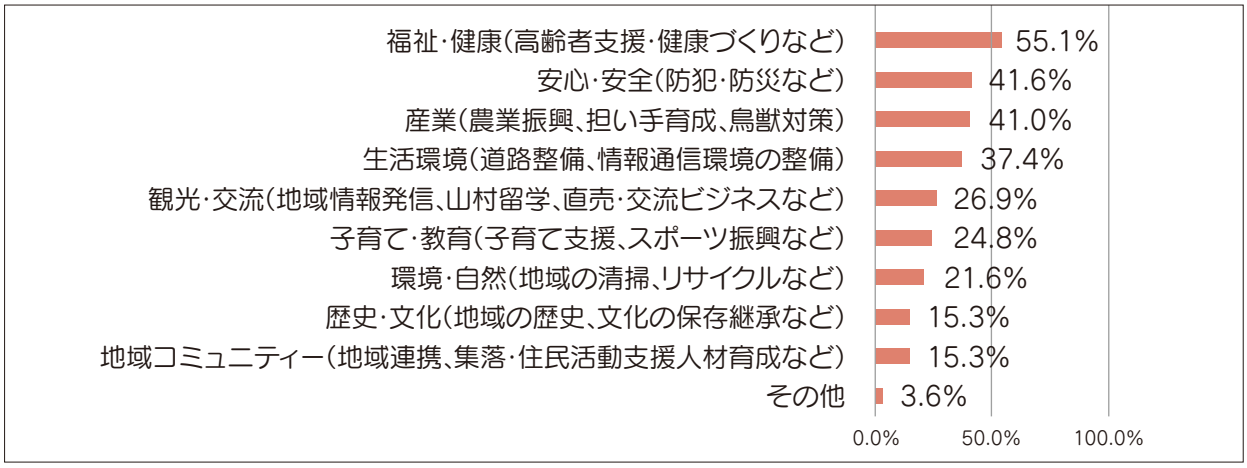
○住み良い、どちらかといえば住み良い、どちらともいえないと答えた理由は何ですか？



○矢部村で暮らす上で、不便や不安を感じることは何ですか？



○これからの矢部地域にとって何が重要だと思うか？



アンケート調査からの意見

[問題や課題]

・人口減少に伴う、農林業の後継者不足、集落の存続（道路愛護などの集落活動が出来ない）、空き家の増加などの問題が大きくなっている。
・利用者減少による、矢部診療所や歯科診療所の存続、堀川バスや乗り合いタクシーなどの移動手段も今後存続できるか心配である。
・特養「ゆいのもり」などの福祉サービスについては、介護職員の不足などを理由に存続が心配される。また、矢部まで来てくれる介護サービス事業者が少なく限られてきている。
・農林業の人材不足により、田畑や山林の荒廃が進み、鳥獣の被害が増加、農作物にも大きな被害が出ている。
・高齢者のみ世帯が増え、自分たちだけでできないことが増えてきている。（食事の準備、ゴミ出し、買い物、通院、水の管理など）
・大雨・台風など災害が怖い。避難所まで行く道中が危険である。
・子供の人口減少により、清流学園の存続が心配である。
・高校への通学が不便なので、進学のタイミングで矢部地域から出る家族が多くなっている。
・矢部地域内に若い人が働く職場がない。
・歴史史跡の保存、管理が問題となってきている。
・道路脇などにゴミが落ちているのが目につく。不法投棄が多い。

[要望]

・人口減で道路愛護の実施が難しい箇所があり、道路の日陰木の除去、夏の道路の草刈りをして欲しい。
・地域内の商業施設を増やしてほしい。（生活必需品が買えるお店、食堂・惣菜店・郷土料理が食べられる店、コインランドリーなど）
・登山者をたくさん呼べるような設備（古民家を利用して、安価で大人数が泊まれる施設を作るなど）を整えて欲しい。
・高齢者関連の施設（いこいの場・リハビリ施設など）が欲しい。
・子ども関連の施設（子どもが集える場所・公園など）が欲しい。
・避難所にWi-fiが欲しい。
・安心・安全な水が出るようにして欲しい。
・誰でも使える農産物加工施設が欲しい。
・大杣公園の参道の整備と清掃をお願いしたい。

[提案]

・矢部に適した作物を作付けして、矢部の目玉になる特産物を作ってみてはどうか。（作付け面積を拡大することで耕作放棄地の対策にもなる。）
・人を矢部に呼び込む。農業の繁忙期に、よそから人を雇い入れるなどしてはどうか。
・インターネット環境を整備して、若者の移住をすすめる。リモートワークのすすめ、企業誘致。ICTを活用し地域づくりに活かす。SNSを活用し、矢部村の最新情報をPRしていく。
・歴史史跡の保存・管理に対する担い手の育成や講習会等を実施してはどうか。また、矢部の歴史・文化を案内してくれる人がいるといい。
・子どもを増やす取り組みが必要ではないか。　山村留学などの検討。
・自然環境を生かした観光施設を作って、矢部に立ち寄ってもらえるようにしたらどうか。矢部でしか出来ないアクティビティ（体験・活動）を作る。
・移住者が入居しやすい空き家の整備等を行い、移住者を募集してみてはどうか。

[その他]

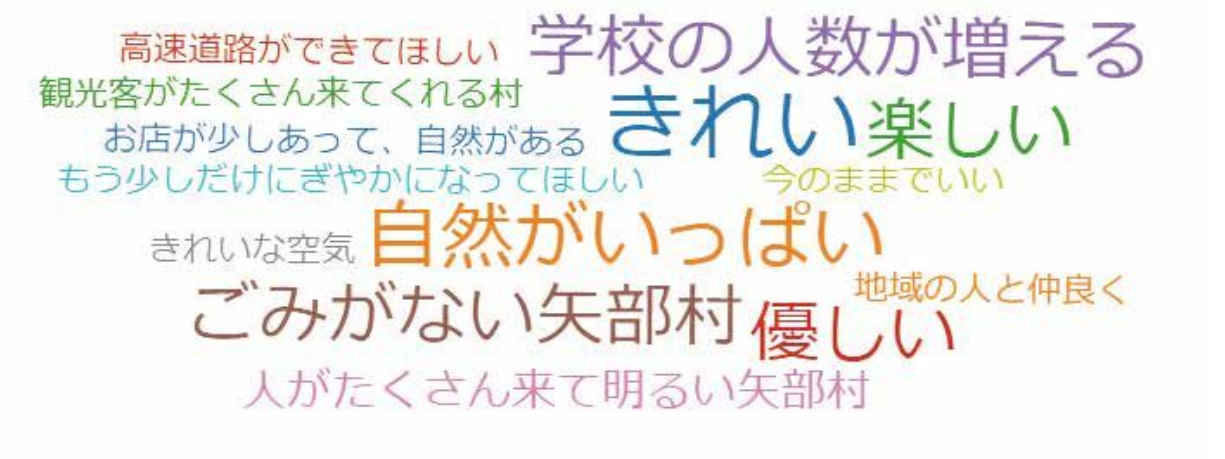
・豊かな自然環境をこれからも大事にしたい。
・高齢者も、働き手世代も健康第一。健康意識の向上が必要だと思う。

②矢部清流学園　児童･生徒アンケート

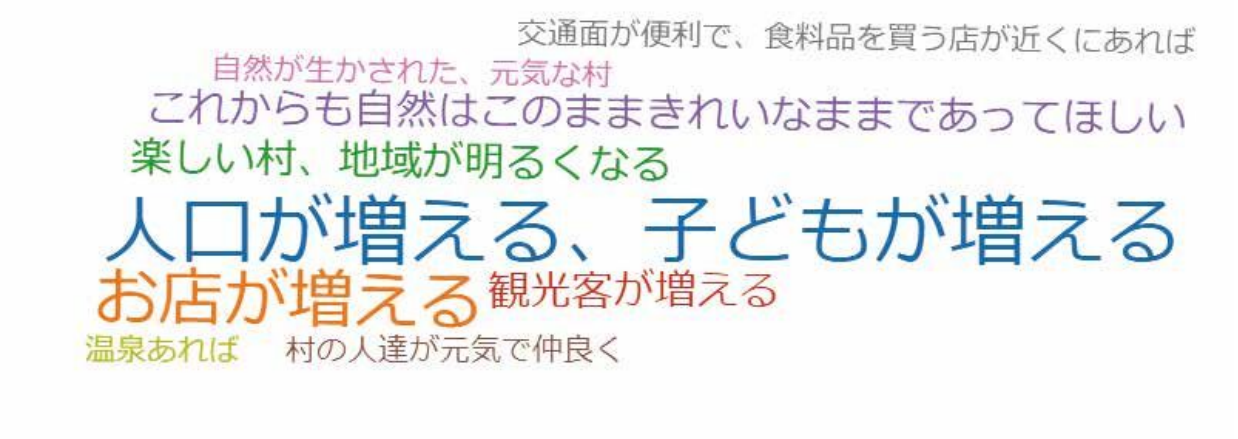
小学生･中学生に対するアンケート調査は、質問に対する回答を自由な意見で記入していただきました。意見の多かったものをご紹介します。

○どんな矢部村になってほしいですか？

矢部清流学園　1年～6年(小学生)　（意見が多かったものが大きく表示されています。）



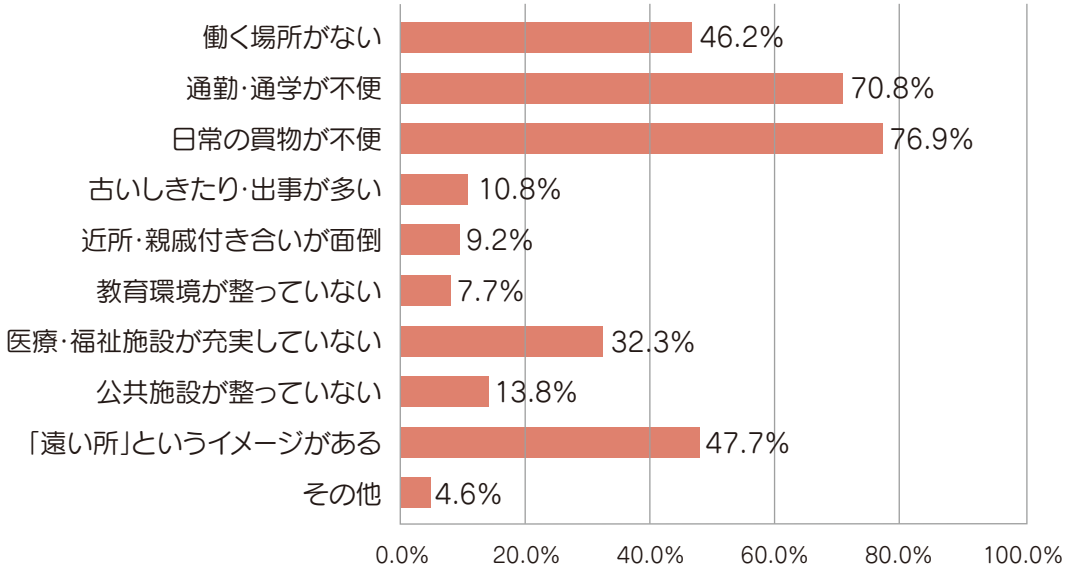
矢部清流学園　7年～9年(中学生)



③村外者アンケート

矢部地区以外に居住し、矢部地区に通勤している方にもアンケートに協力いただきました。
回答者:65人

○矢部村のどんなところに問題があると思いますか？



○今後どのようにしたら矢部村が魅力ある地域になると思いますか？

・歴史ある地域を観光に活かす
・たくさんの人に矢部に足を運んでもらう
・SNSを活用し、矢部村のPRをする
・飲食店を増やす
・宿泊施設を作る
・登山道の整備をする。八名山制覇の記念品をもっといいものにする
・自然を活かした観光施設を作る
　例：オートキャンプ、グランピング、カフェ、サイクリング、ボルダリングなど
・子どもが遊べる場所を作る
・温泉・プールを作る
・季節感のあるイベント開催する
・日常の買い物ができるところを作る・・・住みやすい環境整備
・乗り合いタクシーがもっと利用しやすいものになればいいと思う
・夏の道路わきの草刈り、冬の凍結防止対策、狭い道を広くするなど道路の整備を実施する
・矢部村特有の特産物を作る
・お土産屋を充実する
・地元の人が元気ならば、矢部村の「ひと」が魅力になる
・リーダーになる人を呼び込む
・健康寿命を伸ばし、無理なく働き続けられる仕組みを作る
・誰もがICT活用に慣れ、利用する
・移住の推進をする
・イベント等絶やすことなく続けてほしい
・県境であることを活かし熊本・大分と協同で何かを行うなどしてはどうか
・観光施設ができると、働く場所も増える
・様々な面での利便性を確保する

2　矢部の歳時記

（時期）	（行事内容）
1月	さぎっちょ
2月上旬	公民館まつり
3月中旬～4月上旬	やべ春まつり
3月下旬	世界子ども愛樹祭コンクール授賞式
3月下旬～4月上旬	日向神ダム湖畔の千本桜開花
	桜まつり健康マラソン大会
4月3日	老松天満宮春季大祭
4月中旬～5月上旬	シャクナゲ･ツツジの開花
4月下旬	矢部村山系山開き
6月中旬	青少年の主張大会
7月下旬～8月上旬	オオキツネノカミソリの開花
7月下旬～8月下旬	ふれあい河川プール開放
8月中旬	矢部村花火大会
10月8日	大杣公園祭
10月中旬	矢部地区･矢部清流学園合同体育祭
11月上旬	紅葉まつり
11月中旬	八女矢部まつり
11月第3日曜日	八女津媛神社の浮立(5年毎)
11月23日	老松天満宮秋季大祭

春

夏

秋

冬

3 地域振興計画策定部会員名簿

役　職	氏　名	選　出　区　分

矢部清流学園体育祭集合写真（R5.10.15）

矢部地域づくり協議会

所在地　〒834-1401
福岡県八女市矢部村北矢部10528
TEL　0943－47－3111
FAX　0943－47－2855

この計画書は、八女市地域づくり提案事業の助成を受け作成しました。